

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10,23	コロナ禍での生活が続き、面会制限をお願いする時期が増えてきている。その為、職員がご家族にケアプランの同意を得る際、細かくご本人の生活の様子を伝えるよう心掛けてきたが、来所されるタイミングや職員のスキルの違いなど様々な要因により画一的に行事のご様子を報告する場面が多くなっていった。満足度アンケートからも、その方らしい日常の様子を伝えることの必要性を感じた。	コロナ禍制限が多い生活でこそ価値があると思われる事柄に取り組む。その中でその方らしい生活の様子をご家族に理解して頂き、大切な繋がりを本人・家族が実感しながら楽しみ、生きがいを見い出せるグループホームを目指す。	①グループホーム全職員が利用者様の目標を意識して取り組める工夫をする。 ・当グループホームの理念、方針を意識しながら日頃から就業できているか、常に意見交換できる環境をつくる。 職員が問題意識を持って取り組んでいるのかを確認をする。 生活状況からの気づきを職員間で共有する。 ・毎日の申し送りや振り返り時間の充実。 利用者の気づきや変化を申し送りにつなげていく。 ・一人ひとりの思いを目標にする。 「利用者様の気持ちを満たす目標を立てる。」 ・ご本人、ご家族からやってみたいことややっていたことを確認する。 ・無理なく継続できることを目標にする。 ・日頃からご本人、ご家族との信頼関係構築できるよう努力する。	1ヶ月
				②日々の様子を把握しやすいツールを作成する。 ・目的に合わせた写真を撮るよう心掛ける。 ・ご家族へ月1回情報提供する。 ユニット9名のため4名、5名に分けて2ヶ月に1回報告する。 ・ご本人からご家族宛てにメッセージを書いて頂く。 ③コロナ禍で好評であった企画を継続する。 ・週1回お楽しみ昼食会を企画する。 各ユニット担当を決めて企画する。 ・四季を感じられる活動も大切に企画する。 ・ホームで育った果実を皆さんと話し合いおやつ作りを企画する。 ④実現可能に向けてのケアプランを作成する。 ⑤週1回のカンファレンスにて実施状況について話し合い検討する。 ・活動時の表情や感想を把握する。 ⑥運営推進会議(1回/2ヶ月)にて活動報告する。 ・本人の日常の生活の様子が分かる写真を添付して報告する。 ・目標達成計画(2ヶ月毎)の取り組みを報告する。 ・1年を通して全職員運営推進会議に参加出来るように取り組む。 ⑦毎月ご家族へ近況を報告し家族への協力を得られる様に働きか	2ヶ月
				⑧目標達成状況を評価し新たな目標に向け本人や家族と話し合う。 ・状況や課題を再検討する事で、改善が必要とされる場合は見直しを行う。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。